

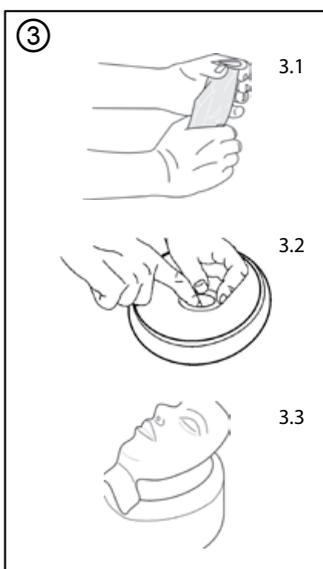
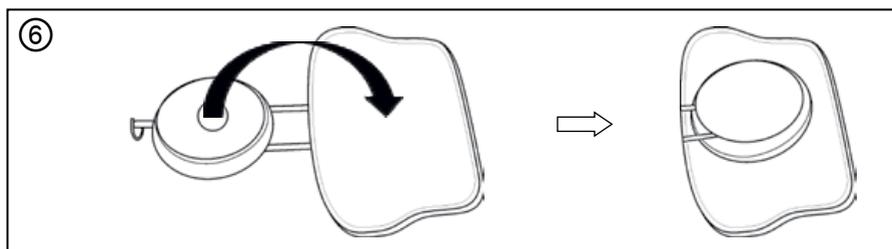
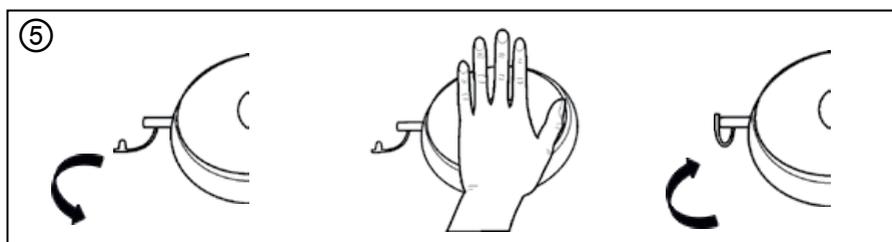
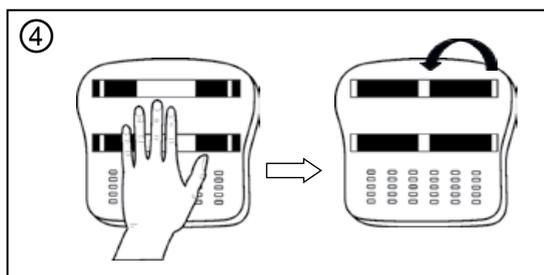
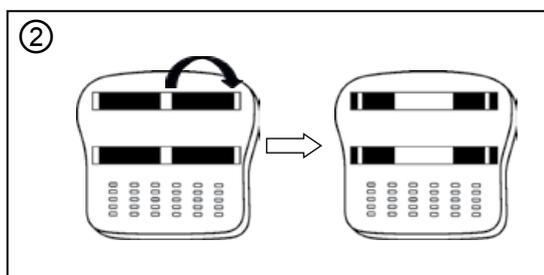
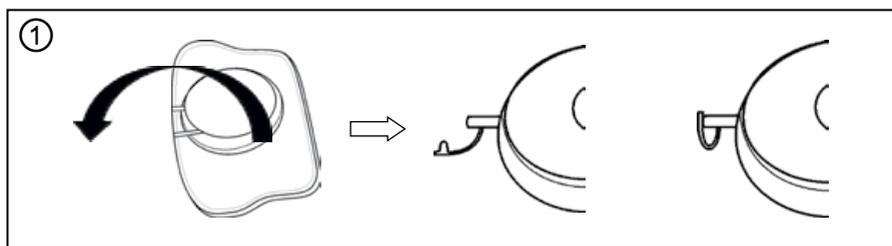
Directions for use

Ambu® Man School



Ambu A/S
Baltorpbakken 13
DK-2750 Ballerup
Denmark
T +45 72 25 20 00
F +45 72 25 20 50
www.ambu.com

492516040 - 11/2016 - V01 - Printed in China



もくじ

- 1. はじめに
- 2. 仕様
 - 2.1. 寸法
 - 2.2. 材質
 - 2.3. 使用と保管
- 3. 使用
 - 3.1. トレーニングの準備
 - 3.2. トレーニングの終了後
 - 3.3. クリーニング
 - 3.3.1. フェースピース
 - 3.3.2. ヘッドとボディーの洗浄

ページ

- 54
- 54
- 54
- 54
- 54
- 54
- 55
- 55
- 55
- 55

1. はじめに

AmbuMan School は、基本的な蘇生法のあらゆる手順について、デモンストレーションとトレーニングを行うために使用することができます。
インストラクターや教師の監督のもと、学生の教育に使用することを念頭に置いています。

AmbuMan Schoolは、蘇生手順のトレーニングに関して、以下の内容を主な用途としています。

- マウスツーマウス人工呼吸
- マウスツーマウス人工呼吸
- 体外式心マッサージ
- AED パッドの取り付け

2. 仕様

2.1. 寸法

重量: 0,8 kg

寸法 (L x W x H): 45 x 30 x 10 cm

2.2. 材質

ストラップ	ナイロン	ヘッド	シリコーン
ベースプレート	ポリカーボネート	フェイスピース	ポリ塩化ビニル
ベロー	熱可塑性エラストマー	肺バッグ	ポリ塩化ビニル
胸部	ポリプロピレン	ヘッドバッグ	ポリエチレン

2.3. 使用と保管

保管温度(凝縮なし) -18° C (-0,4° F) ~ 40° C (105° F)

使用温度(凝縮なし): -5° C (23° F) ~ 40° C (105° F)

湿度: 5% から 95%

3. 使用

3.1. トレーニングの準備

ヘッドを上部に広げて、ヘッドを膨らませます。膨らませ終わったら、空気弁を閉じます。①

マネキンを逆さまにして、中央のストラップを外し、外側のベルクロ上で固定します。②

ヘッドバッグを挿入して、ヘッドにフェイスピースを取り付けます。③

これで、マネキンを使用した CPR トレーニングの準備ができました。

注記:

ヘッドの汚染を避けるため、ヘッドを膨らませるときは、ポンプまたはシリンジのみ使用してください。

ヘッドが使用中に崩れたときは、ヘッドバルブを開き、再びヘッドを十分に膨らませます。

ヘッドバッグを付けていない状態で、マネキンを使用しないでください。内部で汚染が発生する可能性があります。

ヘッドバッグとフェイスピースは、実習生が交代するごとに、新しいものと交換する必要があります。

3.2. トレーニングの終了後

フェイスピースとヘッドバッグを取り外し、ヘッドバッグは処分します。

セクション 3.3 で説明するとおり、ボディーとフェイスピースを洗浄します。

マネキンを逆さまにして、中央のベースプレートを押し、マネキンを圧迫します。

まずストラップを横向きに引っ張り、次にストラップをベースプレート中央のベルクロに固定します。④

空気弁を開き、ヘッドを圧迫して空気を抜き、空気弁を閉じます。⑤

当部を胸部上にひっくり返し、マネキンを箱に戻して保管します。⑥

3.3. クリーニング

3.3.1. フェイスピース

手洗浄

A. きれいな水でフェイスピースをすすぎます。

B. 刺激性のない洗剤と最大 65° C (150° F)のお湯でパーツを洗浄します。

C. きれいな水でしっかりとすすいで洗剤を完全に除去します。

機械の洗浄

フェイスピースは通常の洗浄機で洗浄できます。通常量の

洗剤を投入して、最大温度 70° C (158° F) の洗浄プログラムを選択します。

消毒

A. 最低 500ppm の通常の塩素剤を含んだ次亜塩素酸ナトリウム溶液にパーツを浸漬します(水道水約4リットルあたり家庭用漂白剤1/4カップを入れて 10 分間)。溶液は新しいものを使用し、使用後は廃棄してください。

B. 70% のアルコールクロルヘキシジン溶液にパーツを2分間浸漬します(70% のエチルアルコールと0. 5% のクロルヘキシジン)。

C. また、ポリ塩化ビニル (PVC) との使用が妥当であると認可された消毒剤を使って化学消毒も実施できます。投与や消毒時間に関するメーカーの指示へ厳密に従わなければなりません。

D. 消毒の後、パーツは忘れずにきれいな水ですすぎ、保管する前に乾燥させてください。

注記: フェイスピースは煮沸消毒、オートクレービングまたはガス滅菌に曝すことのないようにしてください。

3.3.2. ヘッドとボディーの洗浄

ヘッドとボディーは、清浄水で湿らせた布を使って拭き掃除します。